

子どもたちの基礎となる力の育成

【予算額 合計 2,181,787千円】※2月補正予算含みベース
 学力向上推進PT(224-2931) 教職員課(224-2958) 小中学校教育課(224-2963)
 生徒指導課(224-2332) 研修企画・支援課(226-3516) 社会教育・文化財保護課(224-3322)
 保健体育課(224-2973)

子どもたちの知識・技能、思考力・判断力・表現力等の「確かな学力」を育むため、一人ひとりの学習内容の理解と定着を図る取組を推進します。「豊かな心」の育成については、「考え、議論する道徳」の授業づくりや読書習慣の定着のための取組を進めるとともに、「三重県いじめ防止条例」に基づき、いじめがなくなることをめざして、社会総がかりでの取組や、増加しているSNSやインターネット上のいじめの防止に重点的に取り組みます。さらに、「健やかな身体」を育むため、スポーツの機会を拡充し、運動に親しむ習慣の定着と体力の向上に取り組むとともに、生涯にわたり心身の健康を自ら管理できるよう、健康教育や食育に取り組みます。

「確かな学力」の育成

学力向上推進事業 【予算額: 15,863千円】

学力向上アドバイザー(3名)の助言を得ながら、算数・数学の習熟度別指導で、学習端末を活用した効果的な指導方法をモデル校で実践

(一部新)ICTを活用した子ども一人ひとりの学びのつまずき克服事業 【予算額: 10,964千円】

- ・みえスタディ・チェックをCBTで実施
- ・学習習慣や生活習慣等の質問紙調査を実施し、早期から課題へ対応

少人数教育推進事業 【予算額: 1,349,034千円】

- ・小学校1年生の30人学級(下限25人)(定数20人)
- ・小学校2年生の30人学級(下限25人)(定数20人)
- ・小学校3年生の35人学級(定数50人)
- ・小学校4年生の35人学級(定数50人)・・・R4から実施
- ・中学校1年生の35人学級(下限25人)(定数55人、非常勤30人)
- * 実情に応じて2、3年生への振替可
- ・習熟度別指導やチーム・ティーチングなどの少人数指導のための教員配置(定数33人、非常勤139人)



「豊かな心」の育成

道徳教育総合支援事業 【予算額: 3,323千円】

学校へ道徳教育アドバイザーを派遣するなど、「考え、議論する道徳」の指導方法等の指導、助言

(一部新)いじめ対策推進事業 【予算額: 14,090千円】

- いじめ防止に関する多様な情報を集約し、発信するポータルサイトを開設
【掲載情報】著名人によるメッセージ、学校での効果的いじめ防止の取組、いじめ相談窓口等
- SNS、インターネットの適正利用
- ・高校生による小学生を対象とした「SNS・ネットの上手な使い方講座」を実施
- ・学校で外部人材によるいじめ防止や情報モラルの出前授業を実施
- ・ネット上の不適切な書き込みを早期に把握するため、ネットパトロールや「ネットみえ〜る」を実施



スクールカウンセラー等活用事業 【予算額: 390,783千円】

- スクールカウンセラー(臨床心理士等)の配置拡充
- ・中学校区、高校への配置を年間32週から35週へ拡充(中学校区:7時間/週、高校:6時間/週)
- ・特別支援学校の配置校数を8校から18校に拡充し、月あたり隔週もしくは1回(4時間程度)の配置
- ・教育支援センターは通級児童生徒数に応じて配置 ※「不登校対策事業」の配置分とあわせ、20センターに配置
- スクールソーシャルワーカー(社会福祉士等)の配置拡充
- ・市町ごとに1中学校区へ配置。学校数の多い市町には複数中学校区に配置(7時間/週)
- 教育相談員の配置

【スクールカウンセラー】
R4:309,272千円(+19,340千円/+6.7%)
 ※R2: 240,182千円, R3: 289,932千円
 ※R2から約1.3倍の予算額

【スクールソーシャルワーカー】
R4:76,698千円(+14,253千円/+22.8%)
 ※R2: 42,772千円, R3: 62,445千円
 ※R2から約1.8倍の予算額

【教育相談員】
R4:28,276千円

教育相談事業(一部)(SNSを活用した相談事業) 【予算額: 11,439千円】

いじめ等の早期発見、早期対応を図るためのSNS相談 ※外国人生徒対応も含む



(一部新)ネット・SNSでのいじめに係る教職員研修(教職員研修事業の一部) 【予算額: 90千円】

インターネット・SNS上でのいじめやトラブルの未然防止、安全に利用するための指導方法に係る教職員研修を実施

子どもと本をつなぐ環境整備促進事業 【予算額: 493千円】

・読書活動推進計画に基づく読書活動の推進 ・家読(うちどく)、ビブリオバトルの普及啓発

就学前教育の質向上事業 【予算額: 80,513千円】(130,513千円 ※R3年度2月補正予算含みベース)

- ・幼児教育センターにスーパーバイザー・アドバイザーを配置し、市町等へ派遣
- ・国事業を活用し、公立幼稚園における保健衛生用品やICT環境の整備に対し補助

「健やかな身体」の育成

みえ子どもの元気アップ体力向上推進事業 【予算額: 4,359千円】

- ・各学校の状況に応じた1学校1運動の推進
- ・元気アップ研修会等による体育授業の充実

みえ子どもの元気アップ部活動充実事業 【予算額: 58,852千円】

- ・運動部活動指導員の配置110名(中学校80名、高校30名)
※部活動指導員: 中学校の文化部配置分(12名)を含め、計122名の配置
- ・運動部活動サポーターの派遣50名(高校配置)
- ・中学校のモデル校で休日部活動の地域移行に関する実践研究

部活動指導員
22名増

(一部新)運動部活動支援事業 【予算額: 191,984千円】

中学校の全国大会、高校の全国・ブロック体育大会への出場に要する旅費に加え、PCR検査費用の負担

社会の担い手となる力の育成

【予算額 合計 1,132,894千円】※2月補正予算含みベース
高校教育課(224-3002)、教育政策課(224-2951)

変化が激しく予測困難な時代にあっても、三重の子どもたちが持続可能な社会を創る人材として活躍していけるよう、地域や地球規模の課題に取り組む探究的な学びなどを通して創造的・論理的な資質能力を育むとともに、子どもたちが自己の将来を見据えながら、実社会とつながった学びができるキャリア教育に取り組みます。また、ICTやデジタル技術を活用して、学校や地域を越えた新たな学びに取り組みます。

これからの時代に対応した 高等学校における学びの推進

(新)未来を創造するリーダー育成事業

①次代を担うグローバル・リーダー育成プログラム実践事業

・新たなグローバル・リーダー育成プログラムに基づき、これからの時代に求められる創造的な資質・能力を育成

＜取組内容＞

- ◇20名程度の生徒(2年生)を募集し、「Mie lab」(ミエラボ)を結成
- ◇プログラムを進めるため、SDGsに係る学習やデータサイエンティスト講座、英語プレゼン講座を受講し、基盤となる力を育成
- ◇グループごとに課題を設定し、外部アドバイザーの助言を受けながら、フィールドワークや海外学生とのオンラインディスカッションをとした探究活動を実施
- ◇活動成果は、企業等のコンテストでの発表や、海外の高校生との意見交換を行う



(新)オンラインとリアルによる学校の枠を越えた学び推進事業 【予算額 3,700千円】

- ・通信制課程で、オンラインでの交流や地域での探究活動を実施
- ・全日制課程で、遠隔授業のモデル構築や、複数の学校をつないだ放課後講座や大学進学講座を実施

(一部新)高等学校学力向上推進事業 【予算額 65,501千円】

- ・国事業を活用して、普通科のモデル校で、分野を横断して学ぶ学際的な教育プログラムの実践研究を実施
- ・AIドリル教材を活用し、効果的な学びに係る授業改善のモデルを全県立学校に展開
- ・ICTの効果的な活用を進めるための支援員を派遣
- ・ICTを活用した授業において著作物を扱う場合に必要となる著作権料を負担

学びのSTEAM化推進事業 【予算額 2,295千円】

Science(科学)、Technology(技術)、Engineering(工学)、Arts(リベラルアーツ・教養)、Mathematics(数学)を活用した文理融合・教科横断的な学びを通して、論理的思考力や探究力を育成

世界へはばたく高校生育成支援事業 【予算額 4,560千円】

- ・レベル別英語ディベートセミナーの実施
- ・高校生の留学支援
- ・オンライン海外交流の実施
- ・三重県高等学校科学オリンピック大会の開催

キャリア教育の充実

【予算額 15,740千円】

②地域の企業とつなぐキャリア教育推進事業

・入学後の早い段階から職業について幅広く理解できるよう、「みえる・わかる・つながる！職業ポータルサイト」を新たに構築し、各校のキャリア教育に活用

＜主な掲載内容＞

- ◇業種、職種の理解が深まる解説動画
- ◇地域の事業所情報(仕事内容や魅力、やりがい、求める人物像、若手従業員からのメッセージ など)

・新たに「キャリア学習支援員」(4名)を配置し、生徒の学習活動へのサポートやキャリアカウンセリング、インターンシップ受入企業の開拓



未来へつなぐキャリア教育推進事業 【予算額 22,721千円】

新たな求人開拓や生徒の就職相談等の就職支援を行う就職実現コーディネーター(14名)を配置

- ・拠点校配置 9名(うち、コロナ対応分3名)
- ・外国人・障がいのある生徒支援 5名(うち、コロナ対応分2名)

2事業あわせ就職支援
を行う外部人材
18名
(対前年度1名増)

(一部新)地域とつなぐ職業教育充実支援事業

【予算額 4,861千円】

(154,657千円 ※R3年度2月補正予算含みベース)

- ・国補正予算を活用して、農業実習用温室の改修や自動車整備の基礎となる機械加工を行う実習室を整備
- ・すべての県立農業高校(5校)でGAP教育を推進
- ・看護師、介護福祉士の育成のための実習を実施

実習船建造事業

【予算額 845,662千円】
※R3年度2月補正予算

国補正予算を活用して、水産高校における新しい実習船の建造工事を実施



デジタル技術の活用

(一部新)入学者選抜事務費 【予算額 18,058千円】

令和5年4月入学生を対象とした高等学校入学者選抜から、入学願書や調査書をデジタル化し、Web出願とする取組を実施



特別支援教育の推進

【予算額 合計 1,580,243千円】 ※2月補正予算含みベース
特別支援教育課（224-2961）、研修推進課（226-3571）、学校経理・施設課（224-2955）

特別な支援を必要とする子ども一人ひとりの学びを支える教育を推進するため、「パーソナルファイル」を活用して支援情報の確実な引き継ぎを進めます。また、子どもたちが地域で豊かに自分らしい生活ができるよう、発達段階に応じた組織的なキャリア教育を進めるとともに、障がいのある子どもたちと障がいのない子どもたちが授業で共に学ぶことや行事等の交流活動を進めます。さらに、特別支援学校における施設の狭隘化や老朽化に対応するため、移転や改修に向けた取組を進め、子どもたちの学ぶ環境を整えます。

特別支援教育の推進

◇早期からの一貫した教育支援体制整備事業 [予算額 19,910千円]

○早期からの一貫した教育支援体制を整備

- ・「パーソナルファイル」の活用促進と、支援情報の円滑な引き継ぎ **1名増**
- ・発達障がい支援員4名による高等学校への巡回相談
- ・通級による指導担当教員等の専門性の向上
- ・特別支援学校のセンター的機能による支援
- ・市町教育委員会と連携した就学支援
- ・特別支援学校に在籍する外国人児童生徒等への支援（通訳・翻訳を行う外国人児童生徒支援員を配置）
- ・高等学校における通級による指導の充実と拡充
- ・交流及び共同学習の充実



◇特別支援学校メディカル・サポート事業 [予算額 6,516千円]

○医療的ケアを安全に実施するための体制を整備

- ・実施校：特別支援学校8校
- ・看護師免許を有する職員と教員が連携して医療的ケアの実施
- ・医療的ケアに係る知識・技能を習得するための基本研修および実地研修の実施
- ・指導医等による巡回指導および相談

◇特別支援教育に係る教職員研修

（教職員研修事業の一部） [予算額 298千円]

○特別支援教育に係る教職員の専門性の向上

- ・経験年数や職種に応じて、特別な支援を必要とする児童生徒の障がいの特性を理解し、その支援方法を学ぶ研修の実施
- ・特別支援学級等の新担当教員が学級経営や障がいの特性に応じた適切な支援を学ぶ研修の実施

進路希望の実現

◇特別支援学校就労推進事業 [予算額 4,690千円]

「未来を創造するリーダー育成事業」
の1名分と合わせ、4名体制で支援

○外部人材を活用した支援を実施

- ・生徒の適性に応じた職種・業務と支援方法を企業に提案する形の職場開拓
(キャリア教育サポーター3名を配置)

○特別支援学校版キャリア教育プログラムに基づく取組の推進

- ・企業等と連携した技能講習、技能検定を実施
(清掃、看護・介助業務補助)

施設の狭隘化・老朽化等への対応

◇特別支援学校施設建築費 [予算額 904,443千円]

(1,519,963千円 ※R3年度2月補正予算含みベース)

○盲学校・聾学校の移転

- ・城山特別支援学校の隣地へ移転するため、新たな校舎の設計および寄宿舍棟の建築工事

○杉の子特別支援学校石薬師分校の改修 ※国の補正予算を活用

- ・知的障がいのある中学部生徒が学習できるよう校舎の一部改修工事

○稲葉特別支援学校の教室改修 ※国の補正予算を活用

- ・寄宿舍棟を教室として活用するための改修工事

○西日野にじ学園の空調設備の更新 ※国の補正予算を活用

○松阪あゆみ特別支援学校の土地取得

- ・教室不足の解消と、肢体不自由のある子どもたちの新たな就学先とするため、校舎増築に向けた土地取得



◇特別支援学校学習環境等基盤整備事業 [予算額 28,866千円]

- ・校舎改修に伴い、必要となる学習備品や消耗品など学習環境の整備

安心して学べる教育の推進

【予算額 合計 136,154千円】

生徒指導課(224-2332)、研修推進課(226-3571)、研修企画・支援課(226-3516)、小中学校教育課(224-2963)、高校教育課(224-3002)、特別支援教育課(224-2961)、教育総務課(224-3301)

不登校児童生徒一人ひとりに応じたきめ細かな支援を行うため、専門人材の配置や、高校段階で不登校等の状況にある子どもたちへの新たな支援に取り組むとともに、外国人児童生徒が社会的に自立できる力を身につけられるよう、日本語指導や将来を見通した進路選択のための支援を行うなど、一人ひとりに寄り添った教育を進めます。あわせて、災害時の学校を支援する体制の整備や防災教育を進めます。

不登校児童生徒への支援

(一部新)不登校対策事業 【予算額 44,987千円】

- 高校段階で不登校等の状況にある子どもたちに、学習支援や自立支援を行う県立教育支援センターの設置に向けた実証研究を実施
- 早期の課題把握と支援を行うため、共通の基準によるスクリーニングを県内1中学校区でモデル的に実施
- 市町の教育支援センター(7カ所)にスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーを配置し専門的な支援を実施
- アドバイザーの助言を得た訪問型支援を実施
- フリースクール等が行う不登校児童生徒の体験学習等の費用を支援

県立の教育支援センター設置に向けた取組を実施!



(新)オンラインを活用した不登校児童生徒の居場所づくり事業 【予算額 7,040千円】

不登校児童生徒が社会につながるきっかけを得ることができるよう、オンライン上で交流できる居場所として、対話や体験活動ができるコミュニティを創出

(一部新)不登校支援に係る教職員研修 【予算額 829千円】
(教職員研修事業の一部)

不登校児童生徒への早期支援や組織的支援を行うための教職員研修を新たに実施

(一部新)教育支援センター指導員等に係る実践力向上研修 【予算額 540千円】
(教育相談事業の一部)

教育支援センター指導員等の実践力向上研修を新たに実施

外国人児童生徒教育の推進

(一部新)多文化共生社会のための外国人児童生徒教育推進事業 【予算額 34,082千円】

- 外国人児童生徒の受入れや日本語指導・適応指導に係る市町の取組への財政的支援
- 学習支援等を行う外国人児童生徒巡回相談員の派遣、オンラインを活用した日本語指導を実施
- 夜間中学の体験教室を引き続き実施し、学び直しのニーズを把握しながら、公立夜間中学の方向性を定める



社会的自立をめざす外国人生徒支援事業 【予算額 16,152千円】

学習支援や進路相談を行う専門員6名、日本語指導アドバイザー1名を県立高校に配置

未来へつなぐキャリア教育推進事業(一部)(再掲) 【予算額 7,428千円】
(高校生就職実現事業(外国人生徒等対応分))

外国人や障がいのある生徒に、きめ細かな相談や求人開拓等の重点支援を行う就職実現コーディネーター(5名)を配置

早期からの一貫した教育支援体制整備事業(一部)(再掲)
(特別支援学校外国人児童生徒の学校生活充実事業)

【予算額 2,797千円】

通訳・翻訳を行う外国人児童生徒支援員を配置

防災教育の推進

学校防災推進事業 【予算額 21,738千円】

- 防災ノートを活用した学習
 - 体験型防災学習等の支援
 - 東日本大震災の被災地での中高生のボランティア活動や交流学习
 - 県立学校(※)の児童生徒用備蓄食料の更新
 - 学校防災リーダー等教職員研修の実施
- (※)災害時に孤立が想定される地域に立地



災害時学校支援事業 【予算額 561千円】

災害時の学校運営に係る専門的知識や実践的な対応能力を備える教職員を育成し、「三重県災害時学校支援チーム」隊員を大規模災害発生時に被災した学校に派遣



教育環境の整備

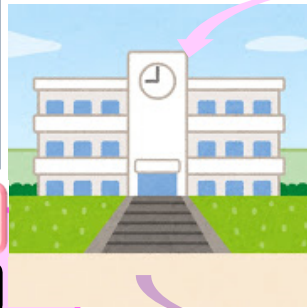
【予算額 合計 4,137,568千円】※2月補正予算含みベース
小中学校教育課(224-2963) 研修推進課(226-3571) 教職員課(224-2959) 教育総務課(224-3008)
高校教育課(224-3002) 学校経理・施設課(224-2955) 教育政策課(224-2951) 社会教育・文化財保護課(224-3322, 2999, 3328)

学校・家庭・地域が一体となった教育活動を図るため、コミュニティ・スクールの拡充に向けた取組を進めます。新たな高等学校活性化計画に基づき、各校の学科や課程の特性を生かして特色化・魅力化の取組を進めます。また、教職員の資質向上を図るため、経験や職種に応じた研修を計画的に実施するとともに、効果的な教育活動と教職員の働き方改革を進めるため、専門人材や地域人材の配置を充実します。子どもたちが安全、快適に学べる環境づくりのため、県立学校施設の長寿命化計画に基づく老朽化対策やトイレの洋式化を着実に進めます。さらに、地域の中で子どもたちを健やかに育む環境づくりを進めるとともに、文化財を将来にわたって守り伝え、活用されるための取組を推進します。

◇地域とともにある学校づくり

地域と学校の連携・協働体制構築事業【予算額 5,102千円】

・「地域未来塾」などの地域学校協働活動に係る経費の補助
・サポーターを市町や学校に派遣し、コミュニティ・スクールの拡充や地域学校協働活動の充実を図るための指導・助言



◇教職員の資質向上と働き方改革の推進

(一部新)教職員研修事業(一部再掲)【予算額 38,058千円】

主体的・対話的で深い学びの授業改善につながる研修や、ICT活用指導力の向上に向けた研修等を計画的に実施



学校における働き方改革推進事業【予算額 317,373千円】

スクール・サポート・スタッフを、引き続きすべての公立学校に配置

教育環境の整備

学校情報ネットワーク事業【予算額 424,604千円】

ネットワーク保守や、端末トラブル等への助言など運用面での支援

(一部新)小中学校指導運営費(一部)【予算額 5,151千円】

セキュリティやコンテンツに関するアドバイザー派遣や、小中学校におけるICT環境の状況把握や助言、学習ツールの利用サポート

情報教育充実支援事業【予算額 253,351千円】 (358,066千円 ※R3年度2月補正予算含みベース)

ICTを用いた教育を充実させるため、指導者用の情報端末を整備

校舎その他建築費【予算額 2,816,287千円】

県立学校施設の長寿命化計画に基づく老朽化対策を実施
※トイレ洋式化:18校で設計、13校で改修工事を実施予定



◇社会教育の推進と地域の教育力の向上

社会教育推進体制整備事業【予算額 1,334千円】

市町や地域の社会教育関係者を対象とした研修会や、公民館と連携した地域課題解決型の講習等を実施

(一部新)鈴鹿青少年センター費【予算額 66,448千円】

民間活力の導入により、魅力ある施設整備と運営管理ができるよう、改修工事等に係る設計を実施



◇文化財の保存・活用・継承

地域文化財総合活性化事業【予算額 90,000千円】

国・県指定等文化財の所有者等が行う文化財修復等の保存事業を支援



世界遺産熊野参詣道・無形文化遺産保存管理推進費

【予算額 538千円】

- ・近隣県と連携した取組の実施
- ・新たな文化資産の情報収集を中心とする基礎的な調査
- ・講演会等の実施

(新)三重の文化・歴史を引き継ごう!新しい学びの機会創出事業

【予算額 1,500千円】

- ・まつりや行事に係る映像視聴や講話、遺跡等の発掘等の体験講座
- ・参加者がさまざまな形で身近な文化財に関わっていく契機とする



◇高校の特色化・魅力化

(一部新)高等学校学力向上推進事業(一部)(再掲) 【予算額 5,581千円】

普通科の新たな教育プログラムに係る実践研究

(新)オンラインとリアルによる学校の枠を越えた 学び推進事業(再掲)【予算額 3,700千円】

- ・通信制課程:オンラインでの交流や探究活動
- ・全日制課程:遠隔授業のモデル構築や、複数の学校をつないだ放課後講座や大学進学講座

教育改革推進事業【予算額 3,826千円】

- ・本県教育の今後のあり方について、幅広い視点から検討する教育改革推進会議を開催
- ・地域協議会を開催し、各地域における高校の活性化や今後のあり方について協議

新型コロナウイルスの感染防止対策と学びの継続

【予算額 合計 1,672,974千円】※2月補正予算含みベース
保健体育課(224-2969,2973) 高校教育課(224-3002)
特別支援教育課(224-2961) 教職員課(224-2958,2959)
小中学校教育課(224-2963) 教育財務課(224-2940)

学校における感染防止対策を徹底するため、衛生物品の配備や登下校時における「三つの密」を避けるためのスクールバスの増便、教員の業務支援を行うスクール・サポート・スタッフの配置などに取り組みます。また、新型コロナウイルス感染症の影響がある中でも、高校生一人ひとりの希望に応じた就職が実現できるよう支援を行うとともに、補充的な学習に係る支援、奨学給付金の支給などに取り組みます。

感染防止対策

衛生物品等の配備

県立学校児童生徒等健康管理事業（一部）
（県立学校消毒液等配備事業） [予算額 38,678千円]
※令和3年度2月補正予算
県立学校(75校)において消毒液等を購入し、配備



通学時の安全確保

高校生安心安全通学支援事業
[予算額 163,538千円]
県立高校生徒の登下校時における「三つの密」を避けるため、公共交通機関の乗車率が高く、代替の交通手段がない学校11校において、スクールバスを増便

特別支援学校スクールバス等運行委託事業（一部）
[予算額 176,606千円]
（特別支援学校スクールバス増便事業）
特別支援学校に在籍する子どもたちの登校時における「三つの密」を避けるため、スクールバス13台を増便

安全・安心な学校活動

少人数教育推進事業（少人数学級推進事業）（一部）（再掲） [予算額 831,675千円]
・国の学級編制標準が令和3年度から計画的に引き下げられていくことをふまえ、国の加配定数を活用して、これまでの本県独自の小学校1・2年生30人学級（下限25人）、令和3年度から実施している3年生35人学級に加え、令和4年度は4年生を35人学級とし、きめ細かな指導を行うとともに、できる限り安心して学べる環境とする
・中学校は引き続き1年生での35人学級（下限25人）を実施

学校における働き方改革推進事業（一部）（再掲） [予算額 191,024千円]
（スクール・サポート・スタッフ配置事業）
感染症拡大防止のための業務や学習教材の準備など、教員の支援を行うスクール・サポート・スタッフを、引き続きすべての公立学校に配置
※全569名（県立学校・小中学校配置）のうち、コロナ対応分として362名分

（一部新）運動部活動支援事業（一部）（再掲） [予算額 59,150千円]
生徒や教職員が安心して全国・ブロック体育大会に参加するためのPCR検査費用を負担

学習支援・学びの継続

（一部新）高等学校学力向上推進事業（一部）（再掲）
（ICT・オンライン教育推進事業） [予算額 45,452千円]
・ICT環境の効果的な活用を進めるための支援員を派遣
・ICTによる授業で必要となる著作権料を負担

（一部新）小中学校指導運営費（一部）（一部再掲）
（学習指導員配置事業）（ICTを活用した教育推進事業） [予算額 79,029千円]
・子どもたち一人ひとりの状況に応じて、補充的な学習の支援や授業における教員の補助を行う学習指導員を配置
・アドバイザー派遣を行うとともに、ICT環境の状況把握や助言、学習ツール利用に係るサポート等、各市町に対して運用面での支援

（一部新）多文化共生社会のための外国人児童生徒教育推進事業（一部）（再掲） [予算額 3,855千円]
オンラインを活用した日本語指導を実施するとともに、初期日本語教室と散在地域の小中学校の児童生徒をつなぐ仕組みを構築

就職・特別活動等への支援

未来へつなぐキャリア教育推進事業（一部）（再掲）
（高校生就職表現事業（コロナ対応分）） [予算額 7,144千円]
就職実現コーディネーター14名のうち、コロナ対応分として5名を配置

特別活動支援事業 [予算額 6,800千円]
修学旅行を中止または延期した場合に発生する企画料や、臨時休業に伴うキャンセル料を負担

高校生等教育費負担軽減事業（一部） [予算額 70,023千円]
（高校生等奨学給付金事業）
・家庭でのオンライン学習に必要な通信費への支援
・新型コロナ等の影響による家計急変世帯への支援